

事務事業名		塩谷町鳥獣被害対策実施隊設置事業			<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	産業活性化に向けたまちづくり			所属課	産業振興課	担当	農業振興担当
	施策名	農業生産基盤の充実			課長名	手塚 義久	担当者名	吉田 周史
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)		
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 鳥獣被害防止特措法に基づき、町は、対象鳥獣の捕獲等、防護柵の設置その他の被害防止計画(関係機関で協議会を設置し計画書作成予定)に基づく被害防止施策を適切に実施するため鳥獣被害対策実施隊を設置する。</p> <p>実施隊の設置に当たっては、隊員の報酬・公務災害措置を条例で定め、町長が隊員を任命又は指名することの手続きが必要、実施隊員は町職員及び被害防止施策に積極的に取り組むことが見込まれる者(狩猟免許取得者)</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 歳入 H28～毎年 事業費2,000,000円(内国庫補助100%予定)</p> <p>歳出 報酬 日額2,000円×20人×30日=1,200,000円 交付金(協議会又は実施隊) 800,000円</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	実施隊員の確保 有害鳥獣駆除出動回数	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	有害鳥獣による農作物の被害額 有害鳥獣駆除数	ア 実施隊員	人
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	有害鳥獣による農作物の被害額の減少 有害鳥獣駆除増加頭数	イ 有害鳥獣駆除出動回数	回
		ア 農作物の被害額	円
		イ 有害鳥獣駆除数	頭
		ア 減少被害額	円
		イ 駆除増加頭数	頭

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 人		20	20	20	20	
	イ	実績値 回		600	600	600	600	
対象指標	ア	目標値 円		7,000	6,000	5,000	4,000	
	イ	実績値 頭	8,000	200	250	250	250	
成果指標	ア	目標値 円		1,000	2,000	3,000	4,000	
	イ	実績値 頭		50	50	50	50	

計画		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	国庫支出金	千円		2,000	2,000	2,000	2,000
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		5	5	5	5
事業費計(A)		千円	0	2,005	2,005	2,005	2,005

実績		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
事業費計(A)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	実施隊の設置は町しか行うことが出来ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	近年、有害鳥獣被害が増大し、農業者等から対策の要望が増加している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	国の示した交付金上限を設定	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	有害鳥獣被害対策を行うことは、農業者全体が対象となる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 1 月 4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・実施までの準備・手続き及び運用内容を整理し明確にすること	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 29 年 6 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業